



熱い思いを一つに「大江戸線延伸促進大会」を開催 ～大江戸線延伸の着工に向けて、調査・手続きを早期に進めるよう決議～

と き 10月30日(日)午後1時～午後4時

ところ 区立大泉第一小学校(大泉町3-16-23)

30日、大江戸線延伸促進期成同盟(会長:前川耀男(まえかわあきお)練馬区長)は、地下鉄大江戸線の大泉学園町までの早期延伸実現に向け、地元選出の衆議院議員、都議会議員などを来賓に迎え、「大江戸線延伸促進大会」を開催、約1,200人が参加した。

大会では、地域の力を結集して、国や東京都に対し、早期着工に向けた手続きを進めるよう要請していく旨の決議を行った(決議文は別添)。また、前川区長は、延伸実現により練馬区がさらに発展する可能性があること



会場の様子

にふれたうえで、「大江戸線延伸は、国と都から明確な位置づけを得て大きく前進した。いよいよ着工に向けた活動となる。これまで以上に都と実務的な協議を重ね、早期着工へとつなげていきたいと考えている。」と力強くあいさつした。

当日は、来場者限定記念グッズの配布のほか、地元の区立大泉北中学校吹奏楽部の演奏、ミニトレイン乗車などのイベントも実施され、会場は、ファミリー連れなど多くの来場者でにぎわった。

大会に参加した、会場近くに住む60代の女性は、「大江戸線の延伸は、私達地元住民の長年の願いです。東京都の方へ私たちの熱意が伝わったと思います。これからも地域一丸となって盛り上げていきたいと思います。」と話してくれた。



展示コーナー



記念撮影コーナー



延伸予定図

【大江戸線延伸に向けた、これまでの取り組み】

区は、区北西部の鉄道空白地域を改善するため、大江戸線延伸の早期実現を区政の最重要課題の一つとして位置づけ、地域・区議会・区が一体となって「大江戸線延伸促進期成同盟(会長 前川耀男練馬区長)」を昭和63年に設立し、延伸促進活動に取り組んでいる。

今後は、事業主である東京都との実務的な協議の中で、答申で示された課題解決を図るとともに、大江戸線延伸推進基金の積み増しや新駅予定地を中心に良質な環境に資するまちづくりを進めるなど、早期着工に向けた取り組みを継続していく。